

## 平成30年度第1回下野市生涯学習推進協議会会議 議事録（要旨）

日 時 平成30年8月28日（火）13時30分～15時30分

場 所 庁舎3階教育委員会室

出席委員 委員長 小島 和吉  
副委員長 井上 永子  
委 員 高橋 美恵子  
菅井 貞雄  
石田 節男  
下山 千恵子  
増渕 進  
福田 里美  
鈴木 健一  
武子 保

出席職員 教育長 池澤 勤  
生涯学習文化課長 手塚 芳子  
生涯学習推進グループ 大門 啓美  
漆原 聡  
松岡 貴之

公開・非公開の別 （ 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開 ）

傍 聴 人 1人

報道機関 0人

議事録（概要）作成年月日 平成30年9月3日

### 議 案

- （1）下野市生涯学習推進計画（第二次）について【資料1】
- （2）平成30年度生涯学習推進協議会スケジュールについて【資料2】
- （3）平成29年度生涯学習推進実績報告について【資料3】
- （4）平成30年度実施計画について【資料4】
- （5）平成31年度事業への提案について①
- （6）その他

|        |   |
|--------|---|
| 池澤教育長  | あいさつ  |
| 小島委員長  | あいさつ  |
| 井上副委員長 | あいさつ  |
| 小島委員長  | 議題に沿って進める。まず議題（１）下野市生涯学習推進計画（第二次）について説明を求める。  |
| 事務局    | 下野市生涯学習推進計画（第二次）及び資料１に基づき説明。  |
| 小島委員長  | 次に（２）平成３０年度生涯学習推進協議会スケジュールについて説明を求める。   |
| 事務局    | 資料２に基づき説明。  |
| 小島委員長  | 何か意見はあるか。   |
| 武子委員   | 推進体制の最後に改善案や新たな取り組みについて提案するということが、事業計画とかを見るとほとんど出尽くしているように思える。既にやることは大体決まっています、その内容についても生涯学習推進グループの方と話し合えるわけでもないので事業を推薦するというのは無理ではないか。各事業の評価は対象が広すぎるので無理がある。それよりも協議会としては生涯学習推進グループのバックアップとして新たな事業や今までやってきた事業でネックになっている部分についてこの場で相談してもらって改善策を提案していくような形にしていくほうが推進協議会本来の仕事になる気がする。        |
| 小島委員長  | 特に学校関係だと現在、子どもたちがいない。自分の自治会でも御神輿やどんど焼きをやっているが実際にやっているのは親たちで子どもは数人しかいない。先日、社会教育として鬼怒川のやなに鮎を食べに行こうという話になったが、子どもたちは行かず親が行って楽しんでいる。生涯学習という名目もあるが何かおかしいのではないかと感じている。せっかく推進協議会としてやっているのだから、もう少し形を変えてもいいから、文化を構築できるような形にできないかと考えている。生涯学習推進協議会ということで各委員会の代表が来ているので、関係機関に働きかけられるようなことを組み込んでいきたい。 |
| 池澤教育長  | この会は実施機関ではなく提案型の委員会である。それを提案して上に持っていく。最終的には市長判断になると思うが。   |
| 事務局    | その辺は事務局で何かないか。  |
| 事務局    | 新たな取り組みということが大きく見えたかと思われるが、各委員においては、今までの事業に対してやりにくくなったこと、またそれからプラスワンの意見なども３１年の事業計画にあたって必要なことになっていくので、そういった点もご了解いただいて事業の方に意見をお願いしたい。   |
| 小島委員長  | そのようなかたちでいかかが。  |
| 武子委員   | わかった。   |

|   |   |
|---|---|
| <p>小島委員長<br/>池澤教育長</p>                  | <p>他にあるか。</p> <p>武子委員から子どもが少なくなっているという話があったが、私の住んでいる自治会は46世帯あり最近若い世帯が4世帯増えた。子どもたちの祭りでは我が家のリヤカーを貸してそこに神輿を載せてやっていた。やはり親たちが中心で子どもは5、6人しかいなかった。各46世帯からジュース等を頂くと子どもたちは持ちきれない。バーベキューをやっても子どもは割りばしと皿を持って待っているだけで、親が全部やっていて、とうとうそのバーベキューもなくなった。どのように地域を盛り上げていくかということ武子委員と話していたこともあったのでそれをご紹介させていただく。それも頭の片隅に置いて頂き、今後、公民館講座だとかスポーツ交流館の中とかで子どもたちも含めて何かできたらというのはいつも思い、話している。</p> |
| <p>小島委員長<br/>事務局<br/>小島委員長<br/>石田委員</p> | <p>では次に(3)平成29年度生涯学習推進実績報告について説明を求めらる。</p> <p>資料3に基づき説明<br/>何か意見はあるか。</p>   |
| <p>事務局<br/>石田委員<br/>事務局</p>             | <p>事前に頂いた実績報告を細かに見たわけではないが、これは指定管理を受けている、例えばグリムの館は記載していないのか。一部だが図書館や社会福祉協議会も載っている。あまりにもグリムの里いしばしの事業が全くと言っていいくらい載っていない。これは何か理由があるのか。</p> <p>先ほど事業実績を見せてもらったが、これは8、9割が行政サービスとしてやるような事業であって、特段、下野市ならではとか下野市にしかないということとは感じられない。当たり前の行政サービスしか羅列されていない。指定管理にしたから載せないというのはちょっと理解ができない。</p>   |
| <p>事務局<br/>石田委員</p>                     | <p>指定管理だから載せないというわけではない。</p> <p>実績報告が来ないということか。</p> <p>実績報告に載っているのは学びとか学習の実績が載っている。グリムの館でやっているコンサートとかそういう事業のことか。</p>  |
| <p>石田委員<br/>事務局</p>                     | <p>そうではない。学びの部分もやっている。ワークショップをしたり講師を招いてグリム童話の話を伺ったり、イベントだけではない。</p> <p>指定管理だからということではなく、生涯学習の事業であると報告頂けたものを載せている。</p>   |
| <p>池澤教育長</p>                            | <p>補足説明させていただく。グリムの里いしばしの事業については、多くの補助金を貰っているため、市民の皆様への報告ということで毎年、議会の全員協議会で詳細に経理と事業の部分について報告している。そういったこともあり生涯学習推進協議会にグリムの講座だけ取り出して報告するという事はやっていなかった。ただ石田委員のおっしゃる通り、資料1下図の実施機関の教育委員会部局の中にグリムの館と書いてあるので、学習部門など今まで載っていなかった部分についてはグリムの担当と協議して次回には載せていきたい。</p>   |
| <p>石田委員</p>                             | <p>生涯学習というのは非常に多岐に亘っており、報告を見ると行政サービ</p>   |

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| <p>武子委員</p>                   | <p>スの一から十まで入っているように思う。私はグリムのイルミネーションのボランティアをやっているということで特にそういった気持ちになってしまうのだろうが、グリムの里づくりというのを下野市にも継承して発信して行ってほしいと思っている。報告には図書館や社協、他の財団法人も掲載されているので、グリムの里もイベントだけではなくボランティアも含めて一生懸命、生涯学習に対して活動していると思うので、議会に報告したからということではなく、こちらにも記載してほしい。</p> <p>グリムの里はもっと前に出てもいいと思う。事業はいろいろしているようだがPR活動が少ないような気がする。実際、グリムの里と同じ石橋に住んでいてもちょっとマイナー的な要素が見えていて、古山のほうは委員長をはじめ一生懸命やっているようだが、石橋の南の端のほうに住んでいる自分には感覚的に遠い。童話賞にしても絵画展にしても遠いところでやっているようで身近に感じない。例えばグリムの童話賞に応募して入選しなかった作品もグリムの里に行けば見ることができるようになればより身近に感じることができないかと思う。そういった遠近感を市民全体に知らせるような活動をしていくといいように思う。</p> <p>また施設から駐輪場が遠く、敷地の周りも全部囲ってあってちょっと入りにくい。入口からメインホールまでも距離がある。そういったところも考えてみてもいいと思う。他にもグリムの里とは関係ないかもしれないが、姿川沿いもグリムの童話モチーフのタイルを張ってきれいにしている。しかし実際には雑草が繁茂しておりタイルが見えない。そういったことをグリムの里として意見があれば市民に対して認知度が上がっていくと思う。</p> <p>自分はグリムの里が好きで、グリムの童話賞の企画を提案したり、自分でも応募したりしているの。個人的には地縁もあるし、知り合いが活動をしているおり親しく感じているが、自分のまわりは年末にイルミネーションをしているだけというイメージなので、すごくもったいなく、残念だ。</p> |
| <p>小島委員長<br/>武子委員<br/>事務局</p> | <p>PRが少ない。</p> <p>そう思う。あれだけいいホールや施設があるのに本当にもったいない。グリムの館の事業については平成30年度の実施計画に記載はないが、今年度の実績報告書2ページ目の中段に「計画にはないが実施したもの」ということで記載している事業もある。そのようなかたちで、平成30年度の実績報告書の中にはグリムの館で実施した事業を掲載していく。あわせて平成31年度の実施計画のほうにも記載していく。</p>  |
| <p>石田委員</p>                   | <p>グリムの里いしばしも一生懸命発信しているので実績報告書の中に記載してもらえれば、今のようなご指摘も少なくなってくると思う。</p> <p>以前、古山小で2回ほど出前授業をしている。他にも今年、緑小の生徒とご家族6組13人がグリムのボランティアについて話してもらいたいと来た。いずれも「なぜ下野市がグリムなの？」からスタートする。子どもたちはそこを疑問に思うようで、発信が弱いのかと思い今のような発言に至った。</p>   |

|              |  |
|--------------|--|
| 鈴木委員         | <p>生涯学習情報誌「エール」の最終頁に下野市全図が載っているが、その中で緑のマークは社会教育施設がついているのか。この中に先ほどのグリムの館が入っており、絵画展や童話賞も下野新聞にも取り上げられているので個人的には市内に浸透していると思っている。</p> <p>「道の駅しもつけ」でも生涯学習に関する事業は相当やっているが、生涯学習の場として評価する機会があまりない。併せて健康面では「ゆうゆう館」や「きらら館」等の健康教室も生涯学習の非常に重要なテーマだと思っている。この頁に大松山グラウンド拡張工事は書かれているが、他にもグラウンドは沢山ある。</p> <p>この頁に書ききれないくらいの緑の丸があるので生涯学習のチャンスは相当あると思う。もう少しそういった施設に推進委員会としても目をむけて、生涯学習視点からいろいろな提案をしていくことが提案型の協議会の役割かと思う。</p> |
| 福田委員         | <p>ここの意見には載せていないが気になったことがある。実績報告書15頁のクライミング講習会は中止になっている。オリンピック競技として話題になっているがこれからやる予定はないのか。</p>   |
| 高橋委員<br>増渕委員 | <p>なぜクライミングウォールを壊したのか。利用する人が少ないからか？<br/>B &amp; Gの体育館を改修するのにクライミングウォールがあると改修できない。</p>  |
| 福田委員<br>増渕委員 | <p>別のところにはもう建てないのか。<br/>私はNPO法人夢くらぶ国分寺の会長もしているのでお話すると、市長には建ててくださいという話はしたが、お金がかかると。現在、壬生町のように体育館の中の壁を利用して造っていただけないと要望をしている。</p>   |
| 福田委員<br>増渕委員 | <p>幼稚園の体育館の中にはよくある。<br/>それだと予算的にもそんなにかからない。維持管理も部屋の中になるので簡単になる。ただ高さがないので初心者向けになる。</p>  |
| 鈴木委員<br>増渕委員 | <p>これは水泳場ですね<br/>プールの手前の体育館を改修するのにクライミングウォールがあると広くできない。</p>  |
| 鈴木委員         | <p>あの建物自体は行政全体としてはどういう位置づけになるのか。あれも社会教育施設なのか。</p>  |
| 増渕委員         | <p>そうだ。</p>  |
| 鈴木委員         | <p>ここには書いていない。</p>   |
| 池澤教育長        | <p>スポーツ振興課の担当になる。B &amp; G財団の補助を受けてリニューアルした。今回のリニューアルによって利用者を増やすという課題がある。その中で講習会や研修会の開催も考えている。これは大松山運動公園なども含めてスポーツ振興課が担当してやっている。県内出身選手が金メダルを獲得し、かなり人気もある。公営施設としてのマネージメントの中でクライミングウォール設置も検討している。市民の皆さんにはしばらくご迷惑をお掛けする。</p>  |

|        |   |
|--------|---|
| 高橋委員   | ひとつよろしいか。小学生向けの生涯学習のパンフレットが児童館や図書館、公民館などから学校に配布されるが、実績報告に載っている全ての事業が学校には来ていない。「エール」を見て申し込まないと参加できないものはあるのか。   |
| 事務局    | 自分で見つけないと参加できないものもある。各課から通知を出しているが、公民館の講座などは「エール」を見て申し込んでもらう。定員に余裕があるものは個別に学校に出すこともある。  |
| 高橋委員   | 家庭でそういうものに興味があってきちんと見ている方は参加できると思うが、子どもは参加したくても知らなくて参加できないということもあると思う。良い企画が多いのもったいない。1枚で企画一覧から申込までわかるものがあるといい。申込書は「エール」に掲載しているとすれば「エール」も見ると思う。  |
| 武子委員   | 高橋委員がおっしゃったことも含めて、ボランティアをやりたいとしても、どこに行ったらいいかわからないということがある。ホームページを見てくださいではホームページとかを見ることができない人が汲み上げられない。「エール」も各戸に配られているが隅々まで見る人はそうはいない。そういうことをどうしたらいいか。いろいろやっているのに知らないからといってそれが埋まってしまうのはもったいない。そういう方法を生涯学習推進協議会として提案していければいいと思う。<br>事務局もホームページに載っていますだけでなく何か他に周知する方法はないか。昨年まで図書館協議会にいたが、幹事館である石橋図書館の職員に対しても、もっと前に出て生涯学習の窓口になってもいいのではと提案したこともあるがなかなか上手くいかない。そのあたりがもっと上手くできないかというのは常々思っている。 |
| 井上副委員長 | 全てではないが、毎月の広報誌の中にも生涯学習だよりとしてかなり掲載されている。誌面の枠をもっと取れば掲載できる事業が増えると思う。   |
| 菅井委員   | 「エール」や広報誌も自治会に加入していないと貰っていない世帯がある。生涯学習文化課で子どもを対象にしている部分をピックアップして学校を通して配布するというのもひとつの施策だと思う。学校のプリントはみんな見る。手間は増えるが参加者は増えると思う。  |
| 武子委員   | 良い方法だと思う。   |
| 鈴木委員   | これは「学びを支援する」という事業の中の「市の各種情報の提供・情報収集」に関する部分ですか。そうすると今のお話は情報提供ということだから、それを来年度どう提案するかというのが我々の役目ですかね。   |
| 武子委員   | 具体的にはどうするというのがなかなか出てこない。会議の機会も少なく、集まれる機会も時間も決まっている。毎回この話は出てくるし、昨年度はワークショップもやった。それでも目新しいものは出てこず、既存のものからちょっとかたちが変わっただけで、やることは実質変わらない。だから各グループの長と話す機会というのをもっと持たせてもらいたい。ここに記載されている事業を全てひとりで知っている人はいない。でも全   |

|       |  |
|-------|--|
|       | <p>てを知らないと推進協議もできない。何か提案をしても何らかのかたちで既に実績報告に記載されている。こんなに多くの事業があるから更に新しいものを提案と言われても難しい。提案したものについては各課で一生懸命取り組んでもらっている。それなら、取り組んでいるけど出来ないことをこちらに持ってきてもらって何か解決策がないかを話し合っていきたい。</p>                                |
| 事務局   | <p>今、委員からもらった学校を通してというのは提案のひとつとして各課、全庁的な取り組みというところで提案させていただきます。</p>  |
| 小島委員長 | <p>(4) 平成30年度実施計画について (5) 平成31年度事業への提案について一括で説明を求める。</p>   |
| 事務局   | <p>(4) について資料4に基づき説明<br/>(5) については下野市生涯学習推進計画(第二次)の基本目標Ⅲ「学びを支援する」について提案を求める。</p>   |
| 鈴木委員  | <p>今、議論にあった部分なので我々としても真剣に考えなくてはならない。ハード面のことになるが、多くの市民、保護者の方はスマートフォンを持つようになってきている。情報の発信・収集・参加の申し込みも「エール」見て申し込むこともあるが、インターネットによるものが多くなっている。広報誌もスマートフォンで見ることができる。しかし、街の中にインターネット環境が整っていない。市役所内はアクセスフリーでしたか。</p> |
| 池澤教育長 | <p>w i f i が飛んでいる。</p>   |
| 鈴木委員  | <p>いくつかのコンビニは積極的にやっている。自分の電話回線でもできるし、安全でもあるが、市内にそういった環境がなかなかない。図書館、公民館、スポーツ施設にはいろんな方が集まってくる。そこでお互いに話し合うときに、こんな会合があるから行ってみよう、こんなボランティアがあるけど、どこにあるのかとなったときに、すぐにアクセスできないことがある。</p>                              |
|       | <p>私は安全面もあるので難しいとは思いますが、公の施設でも情報化やグローバル化に対応するという面で少しずつでもインターネット環境を整えていく必要があると思う。そうでないとなかなかアクセスできないし、市や各団体が発信するものにアクセスできる環境が欲しい。具体的にというとな難しいが、とりあえず図書館、公民館、多くの市民が集まる場所をインターネット接続環境にしてほしい。小中学校はそうなっているのか。</p>  |
| 高橋委員  | <p>はい</p>  |
| 鈴木委員  | <p>それは保護者の方もアクセスできるのか。</p>   |
| 高橋委員  | <p>メールは送れる。メアドは保護者にも知らせてある。</p>  |
| 鈴木委員  | <p>先ほどのような親子体験などがある際に、PTAの会議などでその場でスマートフォンで申し込むことはできるのか。自分の電話回線を使うのか。</p>  |
| 高橋委員  | <p>学校便りにQRコードを載せているので学校のホームページにすぐに入っていける。</p>  |
| 鈴木委員  | <p>学校のホームページにそういった記事があれば別に配らなくても入っ</p>   |

|        |  |
|--------|--|
| 高橋委員   | ていけるのか。  |
| 武子委員   | はい。  |
| 下山委員   | 図書館でもやっているのか。  |
| 鈴木委員   | あれは図書館の本の検索だったと思う。   |
| 石田委員   | グリムの館でできるようになるとありがたい。  |
| 事務局    | 前に石橋公民館の中にあったのは撤去された。あれはネット環境が整っていなかったか。施設予約だけだったか。  |
| 石田委員   | 各公民館と情報センターにPCがあり、インターネットができたが2年ほど前に撤去となった。  |
| 事務局    | 現在、シルバー人材センターで夜間の施設管理をしているが、子どもたちがそれを使うことを楽しみにしていた。施設予約の空き状況も我々が見ないとわからない。なぜ撤去になってしまったのか。                    |
| 小島委員長  | 現在、図書館にはw i f i 環境はない。来年度の予算で下野市の図書館にもという話が出たところである。生涯学習情報センターにはw i f i 環境はある。                               |
| 事務局    | 今後、公民館にインターネット環境を整える予定はあるのか。   |
| 高橋委員   | 今のような意見を31年度の事業の提案ということで委員会としてまとめて担当課の方に送りたいと考えている。それについて31年度にすぐ取り組めるのか否か検討するように進めていきたい。                     |
| 事務局    | 現在、市役所のホームページに「エール」は掲載されていないのか。  |
| 高橋委員   | 「エール」はない。  |
| 事務局    | 配られていない家庭もあるならホームページにアクセスして「エール」が見られるほうがよい。またはそこから参加申込ができるといい。   |
| 石田委員   | 「エール」の冊子自体はないが、申し込みはできる。   |
| 鈴木委員   | 公運審で申し込みの状況を確認したが、国分寺公民館では申し込みは「エール」が100%だった。  |
| 各委員    | 「エール」が届いていない市民がいるのか。   |
| 鈴木委員   | 自治会に入っていないと届かない。   |
| 各委員    | 自治会に入っていないと、市民税を払っていても貰えないのか。  |
| 井上副委員長 | 自治会費を払っていないと配られない。それか自分で市役所とかポッポ館に貰いに行くしかない。   |
| 鈴木委員   | 市役所に申し込んで郵送料を払えば市から郵送してもらえる。   |
| 事務局    | 全市民のどれくらいが「エール」を目にしていないのか。現在、外国の方が結構住んでいる。外国の方も市民税は払っている。ただ自治会には入っていない。                                      |
| 小島委員長  | 各世帯に配布している。市内に2万2千世帯くらいあるが発行部数は1万8千部くらい。班に入っていないところは配られていない。欲しい方は取りに来る。議会でも回覧が配られない方々に対してどうするかということの問題としている。 |
|        | 自治会の加入率は65%くらい。市の3割くらいの方は広報も「エール」も配られていない。   |



|       |   |
|-------|---|
| 鈴木委員  | そうすると多くの方がそういったものを目にされていない。目にしていない方が参加できるようになればいいサービスも結構ある。   |
| 武子委員  | 必要な人に限ってできていないことが多い。  |
| 鈴木委員  | ネットでもアクセスしてくれなければどうしようもないが、無料でアクセスできるようになればいい。  |
| 武子委員  | 欲しい時に無いとどうしてもよくなってしまう。ただ今更コンピュータという部分もある。コンピュータは身近にあるような気がするが、ある程度年配の方には難しい。そうなってくるとホームページを当てにしているとなかなか上手くいかないのが実状だと思う。   |
| 鈴木委員  | ご高齢の方に対してはまた別の施策を考えると。親子教室や先ほどのグリムの里の取り組みは非常に良いと思っている。そこにいらっしゃる方は子育て世代の方が多いと思う。そういう方を支援するにはスマートフォンからネット環境が整っていれば、外国人の方も含めてアクセスできる可能性は増えるのかと思う。                      |
| 高橋委員  | 若いお母さんとか保護者もそうですが、QRコードは非常に好評で、自分の学校でも保護者からはお便りに付けてもらえると学校のホームページにスマートフォンからすぐ入れるからということでQRコードを活用している。市役所から発行されるものにも携帯電話から簡単にホームページに入っていけるようなものと考えていくと若い世代に身近になると思う。 |
| 小島委員長 | 他に実施計画についてご意見あるか。   |
| 高橋委員  | 各公民館それぞれでしか実施しない講座があると思うが、例えば石橋公民館で人気のある講座を、今度は国分寺公民館でやろうとはならないのか。私は国分寺地区に住んでいるので石橋公民館で講座をやっているけど、参加しにくく、近くの公民館でもやればいいのかと思う。人気の講座は他の公民館でやるというのは試していないのか。            |
| 事務局   | 人気というのは参加者の多かった講座ということか。  |
| 高橋委員  | はい。あとはもう少し遅い時間なら行けるのにとということもある。昼間に人気の講座は夜もやるとか。   |
| 福田委員  | 以前、公民館に勤めていた。人気のある講座は自主グループになる。その自主グループの中で地域がバラバラになっていたりすると、また何人か集まれば近くの公民館でやるということになり、そちらの地域で運営していく。   |
| 高橋委員  | 自主グループを増やすために別の公民館でもやってみようということはあるのか。   |
| 事務局   | それはあります。  |
| 武子委員  | 全部ではないが。  |
| 福田委員  | 希望があれば。   |
| 高橋委員  | それは誰が希望するのかということもあるので、そういうのをどんどんやっていくのもいいと思う。   |
| 武子委員  | 参加人数が多かったものは生涯学習文化課の方で関係組織に知らせて   |

|                      |  |
|----------------------|--|
| <p>下山委員</p>          | <p>いくというようにしてもらえれば、やりましょうということになると思う。講演会等もこんなにいい話をしてもらえるのに何でこんなに参加者がいないのかということがある。本当にもったいない。</p>                     |
| <p>高橋委員<br/>石田委員</p> | <p>図書館でも1館で人気だったものは他の2館でもやるということはある。</p>   |
| <p>事務局</p>           | <p>時間帯の問題もある。昼間しかやらないものも多い。</p>  |
| <p>小島委員長</p>         | <p>公運審代表で来ているのでこんな意見があったということを公運審でも話していきたい。</p>  |
| <p>事務局</p>           | <p>今の公民館における問題については随時、館長会議の中で話していきたい。各公民館のカラーも活かしながら、部屋の大きさが足りないといった問題もあるが話はしていく。</p>                                |
| <p>各委員</p>           | <p>他にないか。なければ今回出して頂いた意見を皆さんの意見として反映させてよろしいか。</p>   |
| <p>事務局</p>           | <p>異議なし。</p>   |
| <p>事務局</p>           | <p>こちらで出た意見は事務局でまとめて関係各課に周知する。今後も下野市生涯学習推進計画（第二次）の基本目標Ⅲ「学びを支援する」について話を進めていただきたい。次回はそれについてのワークショップを予定している。</p>        |
| <p>鈴木委員</p>          | <p>ちなみに市の予算の基本案はいつごろ決まるのか。30年度のいろいろな提案をしても、来年の予算は決まっていると言われては何のための会議かわからない。</p>                                      |
| <p>事務局<br/>小島委員長</p> | <p>10～11月ごろ計上予定なので、それまでに皆様の意見を伺いたい。</p>  |
| <p>事務局</p>           | <p>ではその他で事務局から何かあるか。</p>   |
| <p>事務局</p>           | <p>次回の会議日程案を提示<br/>&lt;委員間で日程調整&gt;</p>  |
| <p>事務局</p>           | <p>次回は9月28日（金）に同じ時間をお願い致します。</p>   |
| <p>事務局</p>           | <p>頂いた意見については29年度の実績報告については修正ができないが関係機関に周知する。30年度についてはグリムの里の事業などを追加していく。次回は31年度事業について皆様の意見をお伺いする予定である。以上で閉会とします。</p> |